



「お勝手」と「台所」はどうちがうの

「お勝手」と「台所」は同じもの

家いえの中なかで、食事しょくじのしたくしたくをすところだいどころを台所だいどころといいますね。

台所だいどころということば以外いがいに、台所だいどころを表あらわすことばに、「お勝手かって」というのがあります。つまり、お勝手かっても台所だいどころも同じものいです。言い方かたがちがうだけです。

勝手かってというのは、もともと、「かてかて（糧た＝食べ物ものや食糧しょくりょうのこと）」があるところところ（所ところ）」、「かてかてどころ」といっていた音おんがつまって、「かってかって」というようになったのです。「かってかって」に「お」をつけて、ていねいなことばにして、「お勝手かって」といたりします。

いまいまでも、台所だいどころ、調理場ちょうりば、キッチンでいの出入り口ぐちをさして、勝手口かってぐちといいますね。

「台所が苦しい」という言い方

「台所だいどころ」には、食事しょくじのしたくしたくをすところところ、という意味いみのほかに、会社かいしゃや家いえのお金かねのやりくりやりくりという意味いみがあります。「台所だいどころが苦しいくる」といえば、会社かいしゃや家いえのお金かねのやりくりやりくりが、苦しいくるという意味いみになります。ぎゃくに「台所だいどころが豊かだゆた」といえば、お金かねに恵まれめぐ、豊かゆたなくらしなくらしをしているという意味いみになります。

同じような意味いみで、「勝手向きかってむき」ということばことばがあります。「台所だいどころに関することかん」という意味いみのほかに、「暮らし向きくむき」という意味いみがあります。「勝手向きかってむきが苦しいくる」などのようように使つかいます。
(監修・田代 脩)

